

四つのテスト

言行はこれに
照らしてから

1. 真実かどうか？
2. みんなに公平か？
3. 好意と友情を深めるか？
4. みんなのためになるかどうか？



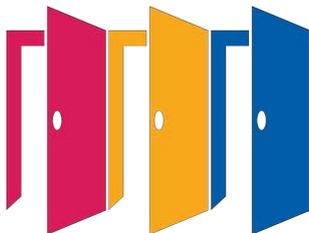
例会場：厚木アーバンホテル

例会日：毎週金曜日 12：30～13：30

事務局：厚木市栄町1-16-15 厚木商工会議所2階

厚木県央ロータリークラブ令報

<http://www.ken-ou-rotary.gr.jp/> e-mail : info@ken-ou-rotary.gr.jp TEL : 046-222-5811 Fax : 046-222-5821



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度RIテーマ
「ロータリーは機会の扉を開く」

2020-21年度厚木県央RCテーマ
「奉仕活動を通して地域社会に貢献する」

会長 高畑幸夫 副会長 神崎 進 幹事 能勢健一

第1026回例会(2020年9月11日)

■点鐘 …高畑幸夫会長

■斉唱 …それこそロータリー

■ビジター紹介



伊藤敦範様(海老名樺RC)

■会長報告

◎ガバナー事務所 より

- ・2020-21年度 地区大会 関連
登録のご案内 2020年10月18日(日)鎌倉芸術館
長寿・物故会員報告
2019-20年度寄付者一覧
- ・2022年 規定審議会立法案(制定案)地区提案承認
について
- ・コロナ禍におけるアンケート依頼(奉仕プロジェクト委員会)

◎RI第2750地区東京米山ロータリーEクラブ2750より

- ・医療物資支援プロジェクト第2弾「医療用N95 / KN95マスク」のご案内

■スマイル

伊藤敦範様(海老名樺RC)

本日はホームページにつられて参りました。どうぞよろしくお願ひ致します。

高畑幸夫会長・能勢健一幹事

海老名樺ロータリークラブの伊藤様、本日はようこそいらっしゃいました。ごゆっくりされて下さい。例会は、奉仕プロジェクト委員会担当で地区補助金について理解を深める内容になります。よろしくお願ひ致します。

奉仕プロジェクト委員会

松本 豊君・関原敏文君・松澤修身君・新川 勉君

関野耕正君・森 正章君・井 寛明君・和田貴樹君

今日は奉仕プロジェクト委員会の今年度2回目の担当例会です。次年度の補助金について、会員の皆さんと勉強して次年度のプロジェクトに活用しましょう。

岡見 健君

9.11と云う日は忘れることが出来ない日です。2001年9.11はニューヨークテロの発生で約3,000名の方が亡くなりました。平和を目指すロータリアンの方、是非記憶に残して下さい。

伊藤 一君・守屋孝則君・神崎 進君・北村正敏君

難波真奈美君・武藤元秀君・山田幹男君

スマイルBOX

■会長タイム



皆様こんにちは。今回よりペーパーレスを目的とした例会案内がスタート致しました。週報とアジェンダーは受付テーブルに数枚用意して御座います。様子を見て枚数調整を致します。

先週のクラブ管理運営委員会の例会行事でメールやホームページにて例会案内や内容が分かるよう説明がありました通り今回よりどこにいても例会行事内容が分かるようになりました。能勢幹事の尽力も頂きまして素晴らしいホームページが出来上がり、会長幹事会でもお褒めの言葉を頂いております。

本日のビジターでいらっしゃいます海老名名譽RCの伊藤様も是非能勢幹事と話がしたいと我クラブにお見えになりました。伊藤様ようこそ厚木県央RCへ。ごゆっくり楽しんで頂ければと思います。

さて、早速能勢幹事がホームページにラオフレンズの赤尾さんのラジオ出演の音声をいつでも聞けるよう掲載してくれております。

赤尾さんの今までの経験や活動内容などが良くわかります。是非、時間があるときに聞いてみてください。30分ほどですが、我クラブの国際奉仕のスタートとなりました。ラオフレンズ小児病院の内面が良く伝わってきます。是非お聞きください。

このように、能勢幹事のホームページの内容がプロの業者さんかと思うくらいの仕上がりとなっております。次年度は能勢さんは幹事ではありませんがホームページ作成は業務として能勢会員に引き続き継続となっておりますのでよろしくお願い致します。

この場をお借りしまして能勢会員は厚木県央RCを退会出来なくなった事を皆様にお伝えして会長タイムとさせていただきます。ありがとうございました。

■今日のお花



ダリア(メキシコ・グアテマラ)

花言葉(優雅・気品・移り気)

■例会「次年度地区補助金への取組」

担当：奉仕プロジェクト委員会



例会行事の目的

今年度初めて配分獲得した地区補助金を、次年度も奉仕活動に活用するために、会員全員で地区補助金配分決定までの流れを理解する。

次年度補助金配分のための取組

1. 補助金の財源と流れを理解する。
2. 補助金の種類を知る。
3. 地区補助金の制約事項の確認。
4. 地区補助金配分決定までの流れを説明。
5. 地区補助金配分決定後の必要な手続きの解説。

例会行事の目的

今年度 我がクラブの歴史で初めて配分が決定された地区補助金を、次年度も活用して奉仕プロジェクトの充実を図る。配分獲得のために補助金の種類や財源、そして地区補助金配分決定までの流れを会員に解説する。

また例会後半は奉仕プロジェクト委員でもある和田会長エレクトより、次年度の補助金配分獲得を目指し補助金事業への考えを語っていただきます。

補助金の種類と決定機関

補助金の種類と決定機関

活動資金、補助金の種類及びその決定機関は

資金は地区財団活動資金と国際財団活動資金の2種類

1、地区財団活動資金は補助金総額の 1/2

地区財団活動資金の 1/2 が地区補助金 決定機関 地区ロータリー財団委員会

残りの 1/2 は、グローバル補助金 決定機関 ロータリー財団

このグローバル補助金には前年度繰越金を、予算として利用できる。
当年度地区活動資金の 1/2 + 前年度繰越金が、当年度のグローバル補助金。

2、国際財団活動資金も補助金総額の 1/2 決定機関 ロータリー財団

財団からの補助金はグローバル補助金と地区補助金の2種類



補助金の種類と決定機関

【補助金の種類】 【決定機関】

- 地区財団活動資金 (DDF) District Designated Fund
 - 地区補助金 (DG) District Grants → 地区ロータリー財団委員会
 - グローバル補助金 (GG) Global Grants → ロータリー財団 (TRF) The Rotary Foundation
- 国際財団活動資金 (WF) World Fund
 - グローバル補助金 (GG) Global Grants → ロータリー財団 (TRF) The Rotary Foundation

6つの重点分野

- 平和と紛争予防・紛争解決
- 疾病予防と治療
- 水と衛生
- 基本的教育と職業の向上
- 母子と児童
- 経済と地域社会の発展

左の表 上が地区財団活動資金 (DDF) 補助金総額の 1/2

地区財団活動資金の 1/2 が地区補助金 (DG)
決定機関 地区ロータリー財団委員会

残りの 1/2 は、グローバル補助金 (GG)
決定機関 ロータリー財団 (TRF)

このグローバル補助金には前年度繰越金を、予算として利用できる。当年度地区活動資金の 1/2 + 前年度繰越金が当年度のグローバル補助金。

左の表 下が国際財団活動資金 (WF) 補助金総額の 1/2
グローバル補助金 決定機関 ロータリー財団 (TRF)

当年度グローバル補助金と同額又は 95% を配分。グローバル補助金総額 (財団直接支援のプロジェクト含む) は地区グローバル補助金 (前年度繰越金含) + 国際財団活動資金配分補助金 = グローバル補助金総額

何とグローバル補助金は地区補助金の **3倍以上**。

補助金予算の多くを占めているのがグローバル補助金で、我々が配分獲得を目指す地区補助金は補助金計画全体の約2割程度が予算配分されている。グローバル補助金は地区補助金の3倍以上。

RI財団の補助金の財源はなにか？

年次基金 (実施年より3年前のクラブからの年次寄付) + 恒久基金運用益。

それでは財団の予算のうち、地区補助金の予算は？

左の表を簡単に説明すると

地区補助金には地区奨学金や、地区の管理運営費が含まれているため、クラブの奉仕プロジェクトとして使える金額は地区補助金全体の8割程度。地区財団活動資金の4割程度しか予算化されていない。

と言うことは

地区補助金はRIの補助金計画全体の**2割程度**しか予算化されていない！

ロータリー財団の補助金の財源

RI財団の補助金の財源

年次基金 (実施年より3年前のクラブからの年次寄付) + 恒久基金運用益。

直近3年の第2780地区の各クラブからの1人当り平均寄付は170～180ドル。毎年、時のガバナーは目標200ドルをかかげているが届いていない。財団は補助金の補助金の予算の比率も考えた方が良くはないか？

我がクラブが創立以来、寄付をどの位しているか簡単に計算すると

創立以来我がクラブはどの位、年次基金に寄付しているのだろうか？

さきほどのスライドを参考に単純に概算額を計算してみました。

平均会員数 * 年次基金寄付 (直近3年平均 * 通算寄付年数 (創立~前年度まで)) = 寄付金合計額

$$40 \text{ (人)} * 130 \text{ (ドル)} * 22 \text{ (年)} = 114,400 \text{ (ドル)}$$

$$\text{日本円換算 } 107 \text{ (円)} * 114,400 \text{ (ドル)} = \text{¥}12,240,800$$

何とこんな多額の寄付を納めてきたのです！

これからも毎年11月に職業奉仕委員会が努力されます。

これからは納めた額の少しでも活用させてもらいましょう。

職業奉仕委員会の皆さん今年も宜しくお願いします。

地区補助金の概要

ロータリー補助金の概要(地区補助金とグローバル補助金)	
地区補助金の概要	
地区補助金の概要は、地区財団が指定したクラブ活動費を、その地区では、OIFの総額50%を地区補助金に配分します。各クラブ等への配分額は、内容や申請クラブ数や申請状況等により変動する場合があります。	
事業内容：ロータリー財団の使命に関連したプロジェクト及びロータリアンが積極的に参加するプロジェクト事業。	
申請：地区が一括して申請し、一括して補助金を受け取ります。	
申請：その地区から補助金を各クラブ等に送金します。	
申請：比較的短期間のプロジェクトです。事業年度の7月から翌年度の6月10日までに変更しなければなりません。但し、プロジェクトへの支払いは、地区より入金制に行ってください。	
申請：比較的小規模なプロジェクト。但し、規模に制限はありません。クラブの継続事業でも3年に1回は申請可。但し、相手先、内容を調整したプロジェクトにしてください。	
申請：奨学期間は1年から2年。奨学金は1年間の費用を支援する。	
申請：研究分野・留学先を問わず、海外の大学又は大学院で学ぶ方。但し、地区内に本籍、居住地、通学・帰国先がない方が好ましい。	
申請：1件当たりのプロジェクトへの補助金(一般応募)は、専任プロジェクト費用の80%かつ50万円を上限に配分します。但し、50万円を超え100万円未満の地区補助金申請(特別応募)は、地区へ個別に申請して下さい。	
申請：特別応募の場合は、月次の資金管理報告が義務付けられていますので、事前に財団補助金管理委員会より必ず申請届出を付けて下さい。	
申請：国内の活動でも、国際レベルの活動でも可能です。	
申請：特筆的にロータリークラブの有無は問いません。	
申請：青少年の旅行を伴う事業は事前の承認が必要です。	
申請：専任プロジェクトの分野は問いません。	
申請：高度活みの地区補助金プロジェクトに対する完了報告書を期前までに速やかに提出しなければなりません。	
申請：プロジェクトの終了後補助金が使った場合、補助金は財団に返却していただきます。	
申請：グローバル補助金プロジェクトに関し、専任で専任活動をするため、またはプロジェクトの調査をするためのロータリアンの旅費は地区補助金で申請できます。	

地区補助金の概要

左の表に書いてある内容(財団ハンドブック)を簡単に

- ・ 財源は地区が一括して申請して補助金を受領。
- ・ 地区補助金には一般応募(上限50万)と特別応募(50万を超え100万未満)の2種類がある。
- ・ 比較的小規模プロジェクト。実施年度の7月から翌年5月10日までに完了。
- ・ クラブの継続事業でも3年に1回は申請可。但し相手先、内容を刷新したプロジェクトにする。
- ・ 1件当たりのプロジェクトの補助金(一般応募)は奉仕プロジェクト費用の80%かつ50万以下。
- ・ 実施国・地域にロータリークラブの有無は問わない。
- ・ 国内の活動でも国際レベルの活動でも問わない。
- ・ 50万を超え100万未満の特別応募は地区に個別に相談。月次資金管理報告義務など面倒臭い。

等々

地区補助金の制約事項

地区補助金を活用する奉仕プロジェクトには制約事項がある。

- 講演などのチケット代。
- 史跡の標識やモニュメントの設置はダメ。
- 講演会活動などの集客イベントへの対価。
- 募金活動の費用
- 金銭のみの寄付及び協賛金。
- ロータリーの行事
- 土地・建物の購入
- 基金への寄付
- 広報活動の費用
- 商品、景品の購入
- 既に経費が発生しているプロジェクト
- 他団体の運営費・管理費
- 単なる物品の寄贈

RI 第 2780 地区補助金の制約事項

1. チケット代・入場料(障害者の支援は可)
2. 史跡の標識・モニュメント
3. 文化的イベント・講演会・コンサート等
4. 募金活動
5. 金銭だけの協賛金・寄付金(注)
6. ロータリー行事
7. 土地・建物購入
8. 基金寄付
9. 広報(プロジェクトに必要な広報は可)
10. 商品・景品
11. すでに経費が発生しているプロジェクト
12. 他団体の運営費・管理費
13. 単なる物品の寄贈

注) ロータリアンが直接参加する活動であり、不特定多数の人々のために利用される寄付は可。
ロータリアンの飲食、旅費は原則不可。

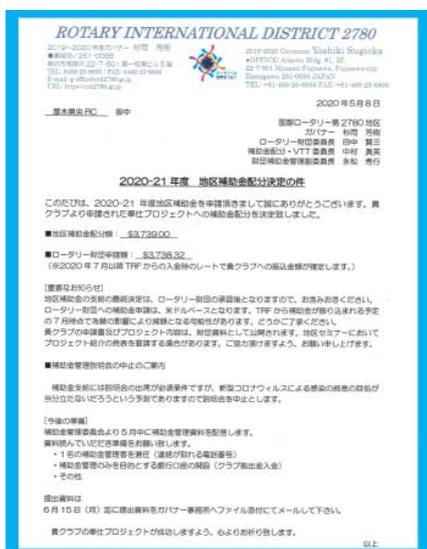
*この表に上記の制約項目が
しるされている。

地区補助金を活用するうえで、制約事項が定められている。要点を簡単に説明すると、金銭のみの寄付や物品寄贈のみのプロジェクトはNG。プロジェクトにおいての商品や景品の購入費に充てる事もNGです。また講演会や集客イベン

要点はこんな事を記入します。

地区補助金申請書についての要約

1. クラブ名
2. プロジェクト名
3. 継続または新規 新規 継続
4. 受領資格の確認 ・財団の使命に関連したプロジェクトか
・ロータリアンが積極的に参加するか
5. 制約事項の確認
6. クラブ拠出金 ・プロジェクトの20%以上を拠出
・プロジェクト実施後の剰余金を財団年次基金に寄付
7. クラブ承認 プロジェクトは理事会で承認されているか。
8. 完了報告書 プロジェクト承認後1ヶ月以内、5月15日までに提出
11. プロジェクトの概要
12. プロジェクトの期間
13. プロジェクトの目的
14. 受益者
16. 実施場所
17. 選択理由
18. 予算
19. プロジェクトへのロータリアンの参加
21. プロジェクトの連絡担当者
22. 本プロジェクトの記載事項への確認署名
23. プレゼンテーションへの希望



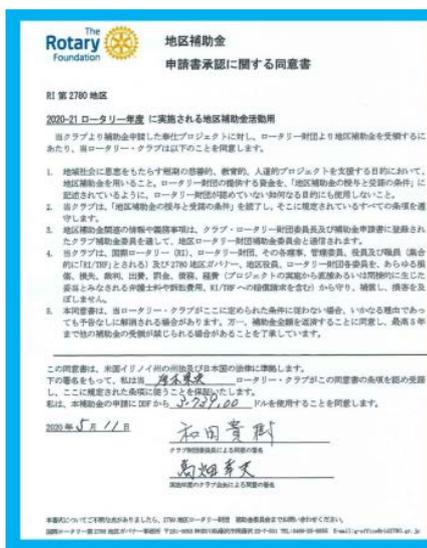
そして配分が決定されると補助金配分決定通知書が届きます。

地区補助金配分決定通知書

無事審査が通り地区補助金の配分が決定されると、左の様な通知書が届きメダタシ・メダタシとなりますが、内容によっては不可となったり、希望金額が減額される事もあります。また配分希望するクラブが多い場合も同様に審査が厳しくなります。今年度はかなり希望クラブが多かったようですが、当時の井会長の熱意と、スマイルで鍛えた私の文才により、何とか配分決定通知を頂く事ができました。

クラブから地区に同意書を返送します。(最終的にR財団に提出。)

地区補助金申請書承認に関する同意書



地区補助金申請書承認に関する同意書

内容を要約すると

1. 財団が認めていない如何なる目的にも使用しないこと
2. 「地区補助金の授与と受給の条件」に規定されているすべての条項の遵守
3. 情報や義務事項はクラブ補助金委員が担当。
4. RI、R財団その他、理事や役員などをに損害を及ぼさない。
5. クラブが条件に従わない場合、如何なる理由があっても予告なしに解約される事があり、補助金全額を返納に同意し最高5年まで他の補助金の受領の禁止に同意する。

傍線より下部に

クラブ財団委員長と該当年度の会長が、クラブが従う事を保証のうえ、補助金を使用すること。に同意して署名。

地区補助金活を活用するプロジェクトにおいて遵守すべき事項が箇条書され、クラブがこれに従う事をクラブ財団委員長と該当年度の会長が同意して署名のうえ地区に提出します。

一般応募の場合、補助金委員を1名任命します。(因みに今年度は高畑会長がその任にあります。)そして補助金業務を明確にして会計、事務の担当者を地区に報告します。また補助金管理のみを目的とする口座を開設し併せて報告します。

補助金振込口座連絡票

2020-21年度地区補助金 振込口座連絡票

第3780地区ロータリー地区委員会 様

2020-21年度地区補助金を以下の専用口座に振込みお願い致します。

クラブ名:	厚木県央ロータリークラブ
※フリガナ:	厚木ハヤシキョウ
通称振込名:	厚木銀行
※フリガナ:	アツキシンケン
支店名:	厚木支店
併合種目:	普通預金
口座番号:	6942309
※フリガナ:	アツキシンケンオウアルシー ナカホジキョウ ダイシキョウ シンカウ ツトム
口座名義:	厚木県央RC 地区補助金 代金 郵便 控

◎補助金専用口座と分かる名義にしてください。(内) OORC 地区補助金 代金△△

今年度の地区補助金担当業務者連絡先

2020-21年度地区補助金プロジェクト 担当者連絡先

担当	氏名	メールアドレス	携帯番号
プロジェクトリーダー	高畑 幸夫	y-takahata@ai.ayu.ne.jp	090-1603-5296
クラブ会計	新川 勉	shinkawa@sunoffice.co.jp	090-1537-3424
クラブ事務局	浅井 登志子	info@ken-ou-rotary.jp	080-9219-0008

補助金管理のみを目的とする口座の開設
への提出資料

和田会長エレクトの次年度の補助金活用の要約

- ・今現在の地区の補助金申請のやり方では、当該年度計画を立案・実行する事業には適用されません。
- ・本年度の様に1年以上前から計画し申請する必要がある。
- ・エレクトが中心になって事業計画を進める必要がある。
- ・我がクラブ恒例の公開例会を補助金事業として計画する事が最善だと考える。
- ・過去の公開例会を振り返り内容を確認すると、殆どが補助金対象の事業だと考える。
- ・年度事業の計画で補助金が必要かどうか検討。

会長エレクトとして具体的に検討しているいくつかの事業

- ・井年度で公開例会として企画したシルバードライビングスクール。
- ・中学生を対象としたサッカー教室。
- ・幼児教育または子育て教育支援。等を、補助金活用プロジェクトとして現在検討中。

次年度も地区補助金配分獲得を目指し今年もがんばりましょう！

今年度配分決定に至った流れを参考に、次年度の地区補助金配分獲得への道筋を説明させていただきました。いままで納めてきたR財団への寄付を、今後はプロジェクトに有効に活用できるように、会員全員で有益な奉仕事業を積極的に考え、活動してまいりましょう。

E N D

奉仕プロジェクト委員会

■四つのテスト



新川 勉君

■ソングリーダー



関原敏文君

■スマイル発表



守屋孝則君

■ロータリーの友紹介



武藤元秀君



■出席報告 <会員 38 名、出席対象 38 名>

8月28日例会 確定出席率 81.08%	9月11日例会 出席 30名 欠席 10名 出席率 78.95%
事後メイク： 井 寛明君(9月4日/理事会)	事前メイク： 森 志朗君(9月4日/理事会) 臼井欽一君(9月4日/理事会)